

◇進路通信◇



第 5 号 2021年7月16日

夏の勉強大全

「夏は受験の天王山」と言われます



■高校1年生，2年生の皆さん

夏休みに入ります。夏休みは38日ありますが、部活動、講習、大学見学、家庭の用事等々で何かと忙しいです。そうした中、最も大切なことは、**毎日必ず自学する学習習慣の確立**といえます。**1年生は3時間、2年生は4時間**の学習を一つの目安にしましょう。**夏期課題と1学期の復習**をしてください。特に1学期の定期考査で85点以上に達しなかった科目はしっかり復習をしましょう。手元の資料で確認したところ、難関大に合格した人たちは、例えば英語の定期考査で85点を下回ることはほぼありません。**学校の勉強をおろそかにして、模試や入試で良い成績はとれません。**

■高校3年生の皆さん



部活がある人もいますが、高校最後の夏はまさに「受験の天王山」です。以下、Q&A形式でアドバイスします。

- Q1 勉強のやり方がわかりません。
- Q2 1日何時間ぐらい勉強したらいいですか？
- Q3 参考書は何がいいですか？

- Q4 英単語(日本史などなど)が覚えられません。どうしたらいいですか？
- Q5 過去問はいつからやったらいいですか？
- Q6 MARCHに合格するにはどうしたらいいですか？



【裏面へ】



A1 あなたへのアドバイスは、勉強方法ではありません。「やり方がわからないから、勉強できない(しない)」という図式を、暗に自分で認めています。最初から人に頼るのではなく、**自分の頭で考え行動する**ようにしましょう。ネットや本など、勉強方法についてはいくらでも調べることができます。

A2 **寝食に必要な時間以外はすべて勉強にあててください。**共通テストまであと6カ月。受験終了まであと7カ月少々です。今の成績で第一志望に合格できると思いますか。「ワンチャン」などありません。数学科の庄司先生は高校時代野球部に所属し、7月下旬まで部活動をしていました。同級生の野球部員たちが高3の夏休み中にどのぐらい勉強し、現役でどの大学へ進学したかを一部紹介してもらいました。A君 642時間(東北大)、B君 601時間(北大)、C君 537時間(明治大)、D君 518時間(東京理科大)、E君 502時間(金沢大学薬学部)。「夏にどれだけ勉強したか。量をやらないと質の向上はないです。夏に量をこなして、自分は勉強体力がつかしました。」(庄司先生談)。勉強に対する姿勢が甘い人、ライバルとなる他校の高3生はこの夏必死に勉強しますよ。

A3 まずは、**現在使用しているものをやりきってください。**あれこれ参考書を購入して、机の上にならぬ悦に入る人は、結局1冊もモノになりません。

A4 隅から隅まで完璧を目指して勉強してください。2~3周程度ですべて覚えられると思わないことです。難関大合格者の中には10~15周という人もいます。暗記で大切なことは「アウトプットする」ことです。英単語なら声に出して意味を言ってください。必ずしも書く必要はありません。「**頻度とアウトプット**」が暗記の鉄則です。

A5 今月半ばから2022年度版の赤本が順次発売されます。8月までに発売にならないかもしれませんが、進路室に行きましょう。難関私大志望者は夏休みから過去問演習に入りたいところですが、**原則として模試偏差値が60以上あることが前提**です。模試偏差値が60未満の私大志望者や科目数の多い国立大2次試験受験者は、**とりあえず1年分のみ解いてください。**そうすることで、難易度や出題形式がおよそわかるからです。

A6 MARCH 合格がどういうことを意味するかを考えてみましょう。毎年、東大京大東工大一橋大 国公立医学部などに合格者を複数出し、早慶で3ケタの合格者を出す高校でも、MARCH に進学する生徒は2~3割います。これは何を意味するのか。MARCH に進学する人の中には「**①国立大や早慶ねらい**」が少なくないのです。「**②成成明学獨國武、日東専駒ねらい**」の人もMARCH を併願する人が少なくありません。また、「**③MARCH 第一志望者**」もいます。そして、最も合格者が多いのが、言うまでもありません**①**です。つまりMARCH に合格するためには、**①の人たちとも勝負する**ということなのです。

